

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論（コミュニケーションを含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	平瀬芳美	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	(1) 試験の解答方式について (2) 接遇、医療面接について（実技を含む）＊コミュニケーション (3) 上記以外の内容（希望に基づき、パソコンの基礎知識や文芸等）	
到達目標	試験の解答方式を理解する。 コミュニケーション・一般接遇・医療接遇の基礎的な知識を得る。 医療面接の導入部（最初の開放的質問まで）がスムーズにできるようになる。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	前期計 15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 各種試験の解答方式	2
	3. 点字について	
	（1）点字についての基礎知識	1
	（2）点字用郵便	1
	4. 接遇理論 ＊コミュニケーション[6時間]	
	（1）マナーとルール、上座と下座	2
授業計画	（2）ノック、名刺交換（ロールプレイを含む）	2
	（3）電話対応（ロールプレイを含む）	2
	（4）身だしなみ（外部講師による特別授業を含む）	2
	5. その他	2
	6. 期末試験	
	後期計 （1 5 週）	後期計 15時間
	1. 医療面接	
	（1）医療面接とは … 実践編 第1章	2
	（2）医療面接の実際 … 実践編 第2章	2
	（3）態度と基本的な技法 … 実践編 第3章	2
	（4）四診とは … 実践編 第4章	2
授業計画	2. 医療接遇実技 ＊コミュニケーション[5時間]	5
	3. その他	2
	4. 期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	いかなる理由でも、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席となります。 出席要件を満たし、学年末評価が50点以上の場合のみ、再評価試験を行います。	
自己学習の進め方	予習よりも復習に重点を置いた学習習慣を期待します。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接 丹澤章八 医道の日本社 2019年	
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	河原塚 由紀	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な福祉を中心とした社会科学諸分野の基礎的知識について学習し、現代社会の諸問題を総合的に把握します。	
到達目標	卒業後の就労時に役立つ知識を身につけることを目標とします。	
授業計画	前期計 (15 週)	前期計 15時間
	高齢化社会とは	1
	少子化問題など	1
	後期高齢者医療制度	3
	その他	2
	中間期チェック	1
	中間期チェックの講評	1
	介護保険 制度の概要	3
	介護保険 在宅サービスの種類	2
	期末試験 (総括的評価)	
	期末試験の講評	1
	後期計 (15 週)	後期計 15時間
	介護保険 施設サービスの種類	1
	介護保険 その他	2
	国民年金の概要	2
	老齢基礎年金	2
	中間期チェック	1
	中間期チェックの講評	1
	障害基礎年金	3
	遺族基礎年金	1
	その他の年金制度	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。なお、前期、後期ともに習熟度を確認するため中間期チェックを行う予定ですが、これは評価に含まれません。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の要点を復習します。授業は事前に配布した資料をもとに進め、既習内容については発問を交えて知識の確認をします。なお資料については大きな單元ごとにまとめたものを希望媒体で配布します。	
自己学習の進め方	配布するまとめ資料はあくまで抜粋ですので、講義にしっかり耳を傾けわからない用語などは授業中に質問するなどして確認してください。また普段からニュース等をチェックするなど学習内容にかかわる項目に興味をもつことでより理解が深まると思いますし、また卒業後に活用できる知識として身につくことと思います。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	配布資料	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	武田和男	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	科学史・医療の歴史を通して、自然と生命の奥深さを知り、自然理解を深め、理性の価値を認識し、豊かな自然観を養います。	
到達目標	東西の医学を学ぶ者として必要な、動植物の成長・発育の基礎知識、自然科学の基礎的な理念・概念・法側頭を理解し、説明することができる。	
授業計画	前期計 (15 週)	前期計 15時間
	ガイダンス・歌う生物学	2
	生物と細胞	3
	DVD驚異の小宇宙人体（生命誕生）	1
	細胞と生物	1
	細胞とその社会	2
	DVD驚異の小宇宙人体（骨格筋肉）	1
	DVD驚異の小宇宙人体（消化吸収）	1
	永遠の生命 HeLa細胞	2
	まとめの時間	2
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 15時間
	笑いと免疫力	1
	インフルエンザとウィルス	2
	ウィルスの謎を解いた人々	2
	筋肉の動く仕組みを探る	2
	石炭酸で傷口を洗う（消毒法）	1
	華岡青洲	1
	伝染病の原因を探せ	2
	沈黙の春	2
	脳はバカ腸は賢い	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎時間の授業に集中し考えをまとめ、試験前に総合的に復習してください。	
使用教科書	配布資料や教室実験・ビデオ視聴	
参考書/参考資料	「仮説実験授業」「永遠の生命」「発明発見物語」「歌う生物学」その他	

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	新 八吉	
修得単位数	1 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な健康・安全や身体運動について学び、健康の保持増進のため運動を実践します。	
到達目標	身体運動を実践することにより施術に応用する能力と態度を習得することが目標です。	
授業計画	前期計 (15 週)	前期計 15時間
	ストレッチ体操	4
	陸上競技	3
	球技	4
	フライングディスク	3
	講義	1
	後期計 (15 週)	後期計 15時間
	陸上競技	2
	カローリング	3
	球技	3
	筋力トレーニング	2
	レクリエーション	2
	ストレッチ体操	2
	講義	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	観察記録法により評価します。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の復習をし、また授業では各種目の完成を目指します。毎回習得度を確認し、不十分であれば繰り返し練習することで理解を深めます。	
自己学習の進め方	授業でスムーズに身体を動かすことができるように、またケガの予防のため日頃より軽くトレーニングを行ってください。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅰ（運動学を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	4 単位	
年間授業時数	1 2 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な人体諸器官の位置・形態・構造とその運動について学び、施術に応用する能力を習得します。	
到達目標	解剖学における用語などの基本的事項を理解できる。 骨格及び関節の名称、構造、機能を理解し、説明ができる。 筋の名称、起始及び停止、支配神経、作用を理解し、説明ができる。 神経系の名称、分枝、機能を理解し、説明ができる。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	
	前期計 60時間	
	ガイダンス	
	1	
	運動器系（総論）（うち、運動学 2 時間） *運動学	
	4	
	骨格（脊柱）	
	7	
	骨格（胸郭）	
	3	
	骨格（上肢）	
	8	
	骨格（下肢）	
	8	
	骨格（頭蓋）	
	8	
	筋と運動（体幹）（うち、運動学 4 時間） *運動学	
	8	
	筋と運動（上肢）（うち、運動学 4 時間） *運動学	
	8	
	復習（うち、運動学 1 時間） *運動学	
	4	
	期末試験	
	1	
	期末試験 講評	
	後期計 （1 5 週）	
	後期計 60時間	
	筋と運動（下肢）（うち、運動学 5 時間） *運動学	
	10	
	筋と運動（頭頸部）（うち、運動学 4 時間） *運動学	
	8	
	人体の区分と方向	
	2	
	神経（構成）	
	2	
	神経（中枢神経系）	
	8	
	神経（伝導路）	
	7	
	神経（末梢神経系）	
	8	
	運動学 *運動学	
	10	
	復習	
	4	
	期末試験	
	1	
	期末試験 講評	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。 分類できるものは分類してまとめてください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版18刷 盲学校理療教科用図書編集委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2024年	
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	井上 浩明	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	9 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	総論、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	総論、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の位置・構造・機能を理解して、人体や模型上で確認できる、及びそれらの構造について説明できる。	
授業計画	前期計 (15 週)	
	前期計 45時間	
	オリエンテーション	
	1	
	第1章 人体の構造	
	10	
	第4章 消化器系	
	12	
	第3章 呼吸器	
	10	
	第5章 泌尿器	
	10	
	期末試験	
	期末試験講評	
	1	
	復習・その他	
	1	
	後期計 (15 週)	
	後期計 45時間	
	生殖器	
	8	
	内分泌	
	8	
	循環器	
	17	
	感覚器	
	9	
	期末試験	
	期末試験講評	
	2	
	復習・その他	
	1	
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
	病院や鍼灸施術所での勤務経験を活かし、臨床での各臓器の重要性及び臓器の意義を交えながら指導します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎回の授業で示される要点を記憶し、配布される課題に取り組んでください。わからない箇所を自ら見つけ、質問できるように努めてください。放課後にも模型観察を行うことができますので、担当教官までお声がけください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版18刷 盲学校理療教科用図書編集委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2024年	
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	鳥丸 大地	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術に必要な人体の機能の正常な働きを理解し、病的症状の理解に必要とされる基本的な知識を学びます。	
到達目標	1. 生理学の基礎的な専門用語を理解できる。 2. 人体を構成する細胞および器官の正常な働きについて簡潔に説明できる。 3. 施術者として必要な人体の機能について理解できる。	
授業計画	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	ガイダンス (授業の進め方、評価方法等)	1
	第1章 生理学の基礎	8
	第2章 循環	13
	第3章 呼吸	8
	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	第4章 消化と吸収	10
	第5章 代謝	6
	第6章 体温	6
	第7章 排泄	8
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	重要ポイントは授業の中で強調しますので、教科書や配布資料を精読して復習し、まとめノートの作成に努めてください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版 11刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・佐藤優子ほか 医歯薬出版 2024年	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版18刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2024年	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	医療概論（社会保障制度及び職業倫理を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	現代の医療制度と社会保障制度及び職業倫理と医学史について基礎的知識を学びます。	
到達目標	「現代の医療」について理解し、説明することができる。 「社会保障制度」について各種分類し、説明することができる。 「医学史」について理解し、説明することができる。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	前期計 15時間
	ガイダンス	1
	現代の医学と医療	7
	社会保障制度	5
	復習	1
	期末試験 期末試験 講評	1
	後期計 （1 5 週）	後期計 15時間
	前期復習	1
	社会保障制度	4
	医療倫理	6
	医学史、その他	2
	復習 期末試験 期末試験 講評	1 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	医療と社会(改訂第8版) 田中千章 岡山ライオンズ 2022年	
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	鳥丸 大地	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	東洋医学概論 I は東洋医学系学科の基礎知識として、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの施術や今後の学習において必要不可欠な科目です。東洋医学の基礎理論（考え方、実践の仕方）を学習します。	
到達目標	東洋医学の基礎理論と特徴、気血津液・臓腑の概念及び生理機能について説明することができる。病因・病機について説明することができる。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	前期計 30時間
	ガイダンス	1
	第1編 東洋医学の基礎理論	
	第1章 東洋医学の意義と特徴	3
	第2章 陰陽論五行論	
	第1節 陰陽論	4
	第2節 五行論	8
	第2編 東洋医学の生理観	
授業計画	第1章 東洋医学における人体の構成	2
	第2章 気・血・津・液・精・神の生理	6
	第3章 臓腑	5
	総括的評価（期末試験）	
	総括的評価の解答解説	1
	後期計 （1 5 週）	後期計 30時間
	第3章 臓腑	13
	第4章 経絡と経穴	8
授業計画	第3編 東洋医学の疾病観	
	第1章 病因論	8
	総括的評価（期末試験）	
	総括的評価の解答解説	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけではなく、東洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして問題解決に努めてください。	
使用教科書	基礎理療学 I（東洋医学概論）（改訂第8版） オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2024年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	9 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な経絡経穴の基本的事項について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。	
到達目標	経穴の名称を暗唱することができる。 経穴の部位を説明することができる。 身体において取穴ができる。	
授業計画	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	ガイダンス	1
	経絡・経穴の基礎	3
	督脈・任脈	8
	手の太陰肺経	3
	手の陽明大腸経	5
	足の陽明胃経	7
	足の太陰脾経	6
	手の少陰心経	3
	手の太陽小腸経	6
	足の太陽膀胱経	2
	期末試験 期末試験 講評	1
	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	足の太陽膀胱経	7
	足の少陰腎経	6
	手の厥陰心包経	5
	手の少陽三焦経	6
	足の少陽胆経	10
	足の厥陰肝経	6
	奇経八脈	1
	奇穴	2
	経絡・経穴の現代的研究	1
	期末試験 期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。 経穴名の暗唱から始め、その後は取穴できるように繰り返し復習をしてください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版12刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 医道の日本社 2024年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	瀧澤 哲	
修得単位数	4 単位	
年間授業時数	1 2 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩の基本手技 7 種類を適切に組合わせて、身体各部への施術及び全身を通しての施術を行う技術を学びます。	
到達目標	①身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 ②あん摩の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 ③適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 ④施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 ⑤施術に必要な触察（解剖学的構造の理解、身体把握など）ができる。 ⑥施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	
	1 オリエンテーション	4
	2 あん摩の基本手技	13
	3 座位における肩背部のあん摩	21
	4 側臥位における肩背腰部のあん摩	15
	5 側臥位における頸部のあん摩	6
	期末試験	
	期末試験講評	1
	後期計 （1 5 週）	
	6 側臥位における上肢のあん摩	18
	7 側臥位における下肢のあん摩	20
	8 ベッドにおける側臥位のあん摩（線状揉捏の練習）	11
	9 ベッドにおける腹臥位のあん摩	10
	期末試験	
	期末試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験 9 0 %、平常点 1 0 %）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	再評価試験は実施しません。また、やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	指づくりを心掛け、何人・何時間と施術ができる体力を身につけましょう。また、医療従事者として健康に留意し、清潔であるように努めて下さい。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライトハウス 2013年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	本授業では、施術者として必要なマッサージ施術に関する基礎的な知識（基本手技・感染対策・リスク管理等）と技能（各基本手技や部位毎の施術手順）について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度の獲得を目指します。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) マッサージ施術の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 (4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 (5) 施術に必要な触察（解剖学的構造の理解、身体把握など）ができる。 (6) 施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	
	1 ガイダンス	2
	2 基本手技の紹介	2
	3 身体各部位のマッサージ	
	①前腕部	12
	②下腿部	10
授業計画	③手関節	4
	後期計 （1 5 週）	
	3 身体各部位のマッサージ	
	④手関節	2
	⑤足関節	10
	⑥膝関節	8
授業計画	⑦肩関節	10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験 9 0 %、平常点 1 0 %）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	授業への参加に当たっては、施術者としてふさわしい身だしなみや態度（清潔な白衣の準備、言葉遣い、体調管理、爪を整えるなど）を心がけてください。授業中はマスクの着用を求めます。	
自己学習の進め方	上肢の筋力がつくよう日々訓練し、爪と手指の手入れを行い、医療従事者として健康に留意し、清潔であるように努めてください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版（都立文京盲学校理療科研究会） 日本ライトハウス 2 0 1 3 年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅰ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	井上 浩明	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	衛生操作、用具の取り扱い、施術の流れ、生体観察の基本、主な経穴の取穴等、鍼施術の基礎と安全動作を習得します。	
到達目標	・身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 ・鍼施術の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 ・押手を安定させ直刺ができる。 ・一定時間内に身体各部位（経穴）への刺鍼ができる。 ・合理的な動作で適切に器具を取り扱うことができる。 ・鍼施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。	
授業計画	前期計 （15週）	
	前期計	45時間
	年間授業計画、必要用具、評価についての説明	2
	実技室の使い方、手洗い、手指消毒法、実技における諸注意	2
	揉捏、押手、留管、弾入	2
	両手挿管	2
	片手挿管	5
	銀鍼による刺鍼練習器への刺鍼	10
	皮膚消毒、自分の下肢への刺鍼練習	7
	他者の下腿への刺鍼練習	7
	下腿の主な経穴への刺鍼練習	7
	期末試験	
	期末試験講評	1
	後期計 （15週）	
	後期計	45時間
	前腕部の主な経穴への刺鍼練習	6
	腰部の主な経穴への刺練習	12
	背部の主な経穴への刺鍼練習	7
	肩部の主な経穴への刺鍼練習	7
	頸部の主な経穴への刺鍼練習	2
	頭部の主な経穴への刺鍼練習	2
	胸腹部の主な経穴への刺鍼練習	3
	顔面部の主な経穴への刺鍼練習	1
	膝関節周囲の主な経穴への刺鍼練習	2
	指サック、グローブを装着した刺鍼体験	2
	期末試験	
	期末試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
	病院や鍼灸施術所での勤務経験を活かし、臨床現場での施術の様子などを話すことで、基礎練習の中でも実際の現場の雰囲気を感じとれ、練習の動機付けとなれるようにします。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90％、平常点10％）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	授業への参加に当たっては、施術者としてふさわしい身だしなみや態度（清潔な白衣の準備、言葉遣い、体調管理、爪を整えるなど）を心がけてください。授業中はマスクの着用を求めます。	
自己学習の進め方	解剖学、経絡経穴概論の内容も含まれるため、事前に関連科目の内容を確認してください。事故防止の観点から原則として鍼基礎実習Ⅰの授業以外の時間には鍼を使用できません。放課後に練習したい場合は教官にご相談ください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエン特研究会 岡山ライトハウス 2021年	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版18刷 盲学校理療教科用図書編集委員会編・河野邦雄ほか 医歯薬出版 2024年 新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版12刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 医道の日本社 2024年	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として、安全かつ衛生的に灸施術を行うための基礎的な知識・技能の習得、医療人としての基本的な態度を養うことを目標とします。 生体観察の基本及び身体各部位（常用する経穴）への灸施術に際しての注意点や過誤・副作用・事故への対処法についても学習します。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) 施灸の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 決められた大きさと形で艾炷を作成できる。 (4) 一定時間内に定められた部位（経穴）への施灸ができる。 (5) 合理的な動作で適切に器具を取り扱うことができる。 (6) 灸施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	前期計 30時間
	①ガイダンス	1
	②施術室の管理、リスク管理、灸の基礎知識	2
	③台座灸の点火と施灸	8
	④知熱灸艾炷の作成	8
	⑤線香への点火	6
	⑥反復練習、試験対策	4
	⑦前期期末試験	
	⑧前期期末試験講評	1
	後期計 （1 5 週）	後期計 30時間
	⑨各種灸法（カマヤミニ・MT温灸器等）による施灸	4
	⑩隔物灸による施灸	2
	⑪台座灸による経穴部位の施灸	20
	⑫期末試験	
	⑬期末試験講評	1
	⑭総復習と応用	3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験 9 0 %、平常点 1 0 %）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	身体や白衣を清潔に保つとともに、施術者として相応しいふるまいを心がけてください。	
自己学習の進め方	この実習で身につける知識・技能は、解剖学や経絡経穴概論に関連する学習内容が多く含まれていますので、積極的に当該科目の復習を行ってください。また、やけどや火災の危険があるため、授業時間以外は火を扱わない練習を行ってください。練習方法は授業のときに提示します。火を扱う練習をしたい場合には、担当教官が立ち会いますので、遠慮なく声をかけてください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2021年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅲ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な指圧の施術に関する基礎的な知識と技能について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。	
到達目標	身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 指圧施術の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 施術に必要な触察（解剖学的構造の理解、身体把握など）ができる。 施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 （1 5 週）	前期計 30時間
	ガイダンス	2
	指圧の基本手技と施術上の基本的事項	2
	腹臥位（伏臥位）の指圧	25
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 （1 5 週）	後期計 30時間
	前期復習	2
	背臥位（仰臥位）の指圧	20
	側臥位（横臥位）の指圧	2
	坐位の指圧	5
	期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験 9 0 %、平常点 1 0 %）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は実施しません。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点を中心に繰り返し練習してください。 施術のための健康・体力・身だしなみにも留意してください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライトハウス 2013年	
参考書/参考資料		